

TOTO

ロータンク用金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

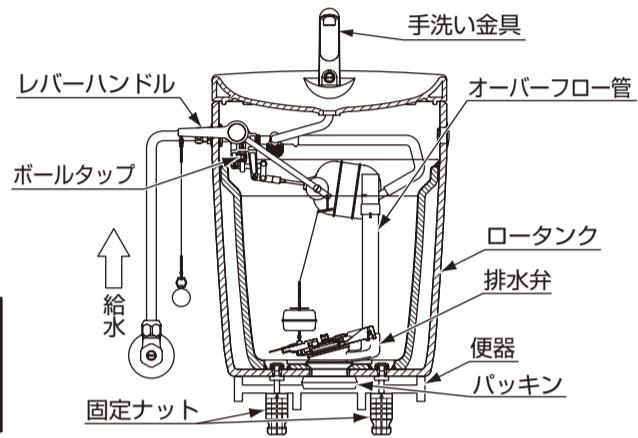
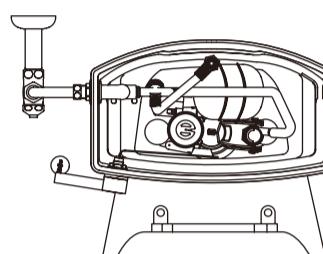
施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

表示	意味
△ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。	お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

△ 注意	
禁止	陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する正常な取り付けができなくなる可能性があります。

各部のなまえと施工のポイント

ポイント①
ボルタップを反対側になるように! (→②)



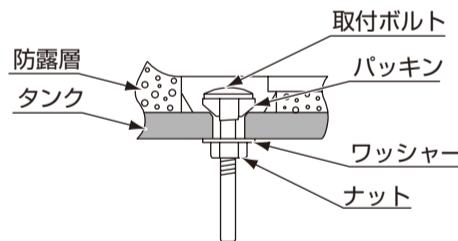
ポイント②
ロータンクを便器に取り付けるときはパッキンがめくれないように真っすぐ下ろすこと! (→⑦)

※(→□)内の数字は器具の取り付け手順を示します。

取付方法

1 取付ボルトの取り付け

付属の六角ナットを使用して強固に締め付ける。

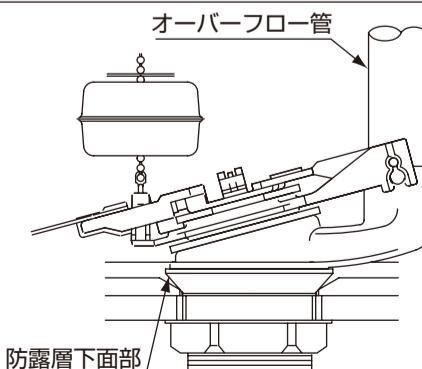


2 排水弁の取り付け

防露層取付部の形状に合うように取り付ける。

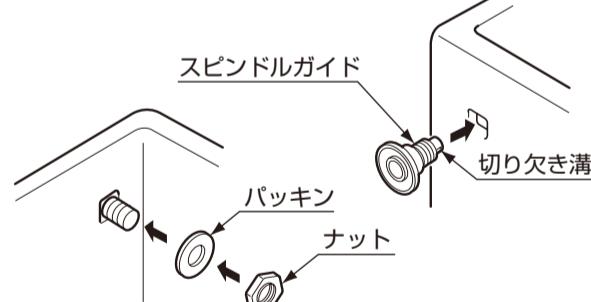
△ 注意

禁止	タンク防露層下面部は切り取らない
必ず実行	左給水と右給水の場合とは取付方向が違います。オーバーフロー管が、ボルタップと反対側になるよう取り付ける

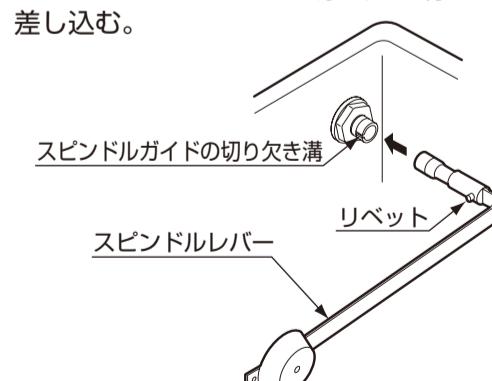


3 レバーハンドルの取り付け

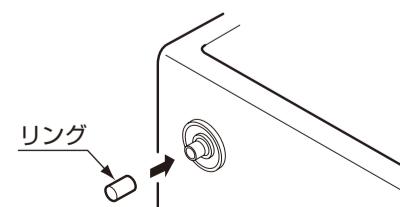
①スピンドルガイドをロータンクのレバー取付穴に差し込んでロータンク内側より、パッキンをはめ、ナットで締め付ける。
このときスピンドルガイドの切り欠き溝をロータンク外側より見て、右に向けて取り付ける。



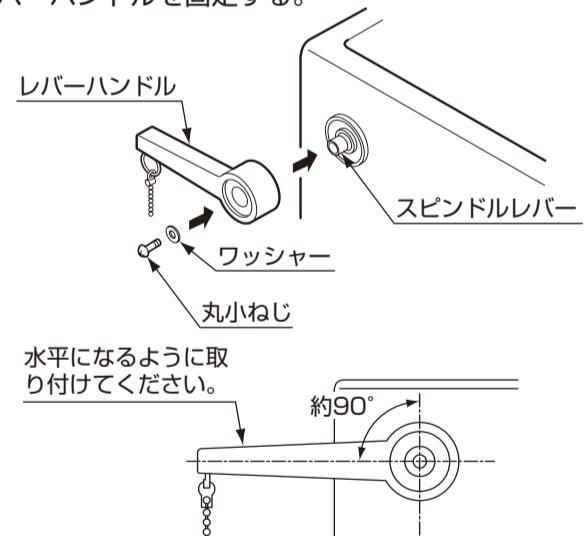
②ロータンク内側より、スピンドルレバーのリベットがスピンドルガイドの切り欠き溝に入るよう差し込む。



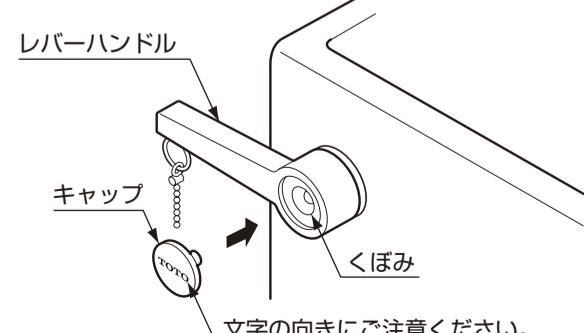
③ロータンク外側より、リングを差し込む。



④レバーハンドルをスピンドルレバーに差し込む。
このとき、レバーハンドルの向きは、ロータンク前面から見て、水平になるように差し込む。
ロータンク前面より、ワッシャーと丸小ねじでレバーハンドルを固定する。

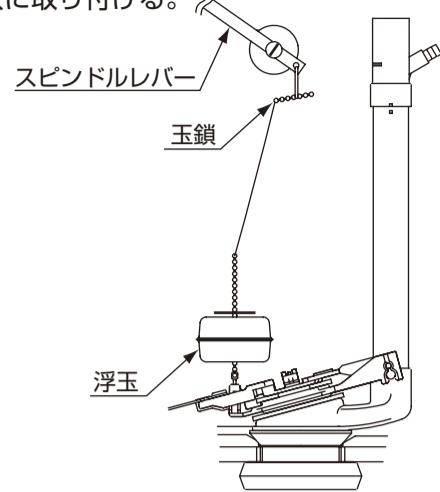


⑤レバーハンドルのくぼみとキャップ裏側の凸部をあわせるようにして、キャップを取り付ける。
このとき、キャップ表側のTOTO文字の向きにご注意ください。

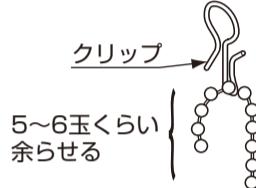


4 玉鎖の接続

①浮玉につながっている玉鎖をスピンドルレバー先端の穴に取り付ける。

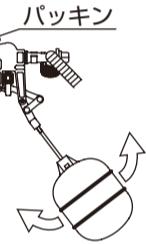


②取り付け後、レバーハンドルを操作し、浮玉が他に干渉なく持ち上がるごとを確認する。正常に作動しない場合には、クリップにつながっている玉鎖の余りが5~6玉くらいになるごと調節してください。



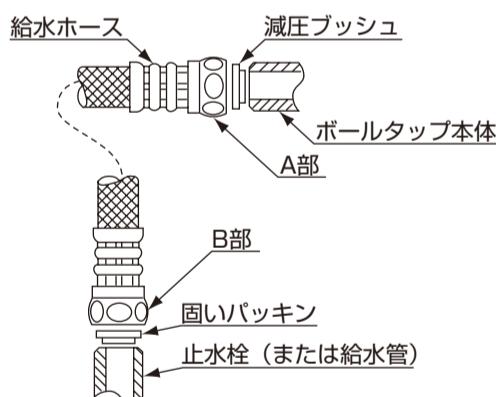
5 ボールタップの取り付け

浮玉が上下にスムーズに動くよう正しく取り付ける。



8 ボールタップと止水栓(別売り)の接続

A部に固定したあと、B部を固定する。

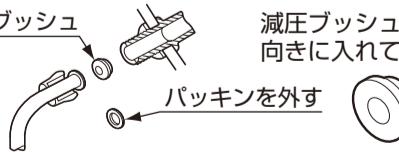


減圧ブッシュの取り扱い

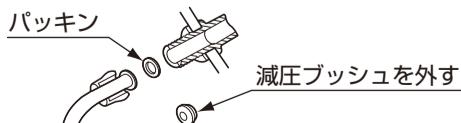
水圧が低く(0.1 MPa以下)タンク貯水に時間がかかりすぎるとときは減圧ブッシュを外してセットしてください。

その場合、接続部には商品に付属のパッキンを使用してください。減圧ブッシュ使用の場合は、このパッキンは使用しませんのでお客様にお渡しください。

[減圧ブッシュをセットする場合]

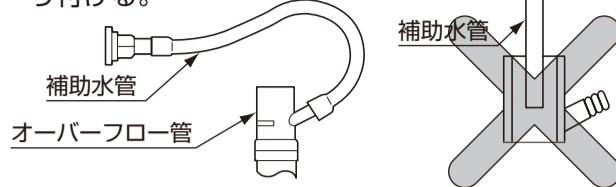


[減圧ブッシュをセットしない場合]

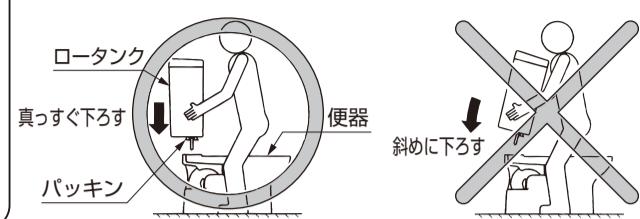


6 補助水管の接続

補助水管は絶対に切らすに山なりになるように取り付ける。



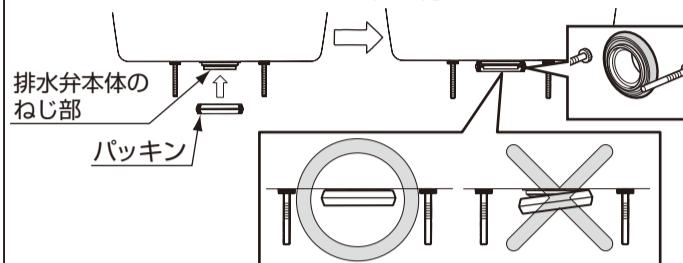
下図のようにロータンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。
※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



7 タンクと便器の固定

①排水弁本体のねじ部にパッキンを取り付ける。

※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



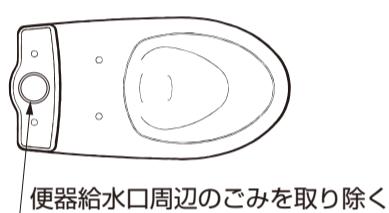
！注意



●同梱のパッキンを上図のように取り付ける
●パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する
正しく取り付けないと水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生のおそれがあります。

②ロータンクを便器に取り付ける。

便器給水口周辺のごみなどを完全に取り除いた
あと、ロータンクを便器に取り付けてください。



！注意

ロータンクを斜めに下ろさない
パッキンが正常に取り付かずシール不良で水漏れするおそれがあります。

パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く
水漏れするおそれがあります。

③固定ナットでロータンクを固定する。

！注意

左右の固定ナットを確実に締める
左右の固定ナットがしっかりと締まっていないと、水漏れして家財などを
ぬらす財産損害発生のおそれがあります。

固定ナットを締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。

※再度、左右が確実に締まっていることを
確認してください。



注意

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。
工具を使用すると破損するおそれがあります。

9 水位の調節

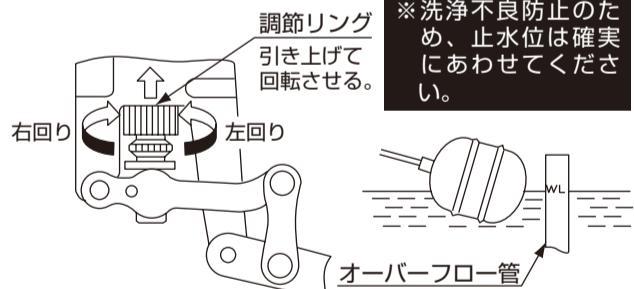
タンクの止水位がオーバーフロー管のWL(標準水位)に合うように、次の要領で調節してください。

①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができる。そのとき、浮玉を軽く手で押させておくとスムーズに回る。90°回すと約8mm水位が変わる。

・上から見て右回し・・・止水位が上がります。

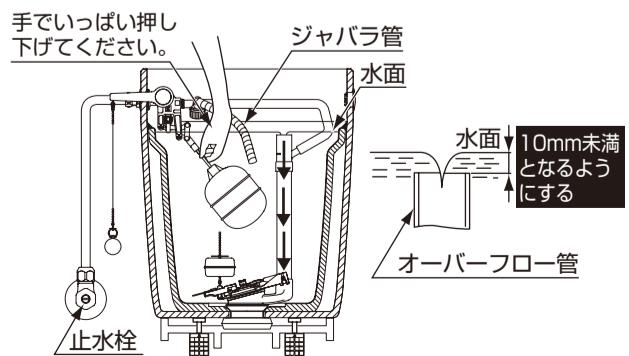
・上から見て左回し・・・止水位が下がります。

②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックする。

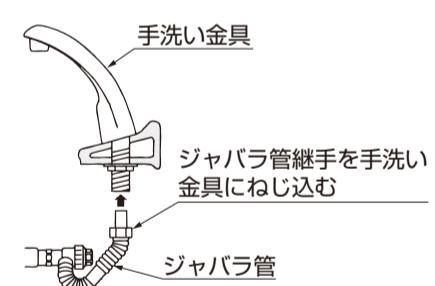


10 止水栓の調節

ボールタップの浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開く。この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上昇しない程度に止水栓の開きを調節する。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



11 手洗い金具の接続 (手洗い付きの場合)



12 手洗い金具の吐水量調節 (手洗い付きの場合)

調節金具をドライバーなどで回し、手洗い金具からの吐水量が適当な水勢になるように調節する。



13 取り付け完了後の確認

2~3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。

※同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。
手渡しきれない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。